

第10回新嵐山スカイパーク経営改革

調査特別委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和6年1月15日（月曜）		午前9時30分 開会	
	休 憩 10:20-10:21			
			午前10時44分 閉会	
	休憩時間： 0時間1分		会議時間： 1時間13分	
会 議 場 所	本会議場			
出 席 委 員 氏 名	委員長 鈴木 健充	委 員 立川 美穂	委 員 木村 淳彦	
	副委員長 正村紀美子	委 員 渡辺洋一郎	委 員 伊藤 稔	
	委 員 西尾 一則	委 員 堀切 忠	委 員 菊池 秀明	
	委 員 常通 直人	委 員 橋本 和仁		
	委 員 中村 和宏	委 員 中田智恵子		
	委 員 早苗 豊	委 員 小笠原 等	議 長 梶澤 幸治	
欠 席 委 員 氏 名				
説 明 等 に 出 席 し た 者 の 氏 名				
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係長 竹川 恭史	総務係主査 上田 瑞紀	
『会議に付した事件と会議結果など』				
1 開 会				
<ul style="list-style-type: none"> ・開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。 ・調査事項に先立ち、委員長から全委員と共通認識を図る事項を説明（「資料1-4」～「資料1-6」）。委員長の説明趣旨は、特別委員会の設置要領及びこれまでの委員会での協議結果（町に対する提言書の内容等）を踏まえると、特別委員会のミッションは終了していないことから、特別委員会の機能が当面継続することを全委員で確認する。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・委員長：このことについて、質疑・意見はないか？ ・早苗委員：目的の何が達成されていないのかが理解できない。 ・委員長：新嵐山株式会社が破綻し、次に向かって進んでいくことを共通認識として、今後も調査を進める。 ・常通委員：設置した目的は新嵐山株式会社の経営調査が目的であり、会社がなくなっても特別委員会を継続すべきなのか？ ・委員長：新嵐山スカイパークは町民の財産であり、三セクの子会社は経営破綻したが、新嵐山スカイパークは今後も続けていく。経営形態も新たな形態となり、今後の新嵐山スカイパークの共通認識を図る。 				

- ・常通委員：町がこれからグランドデザインを手掛ける上で、どこが経営するのかわからない中で経営改革に係る調査を続けるのはどうなのか？
- ・委員長：町としての方向性が決まる前に議会として動き出す必要がある。

2 議 件

(1) 調査事項

ア 委員派遣の基本的考え方（案）について 資料1

- ・正村副委員長：資料説明（「委員派遣の基本的な考え方について」「派遣先選定の基本的な考え方について」等）
- ・委員長：項目ごとに質疑を行う。「1：委員派遣の基本的な考え方について」、意見・質疑はないか？
- ・常通委員：今回委員派遣の話が出てきた経緯は？今後派遣の常任委員会も同様の考え方なのか？
- ・委員長：グランドデザイン策定に向けて行政の動きがあることから、議会として調査をするにあたり、年度内に全議員に調査に関わっていただきたい。
- ・正村委員：特別委員会における委員派遣の考え方。共通認識を図った上で今後調査を進めるためには委員派遣が必要。
- ・常通委員：特別委員会に限った考え方。(2)～(5)は今回だけ特別扱いするのに疑問を感じる。
- ・立川委員：今まで1つの委員会で分散して視察に行ったことはなかったので違和感を感じるの理解する。議会も様々な事例を見て学ぶ機会が必要であり、全員が同じところを見るのではなく、薄くスピード感を持って手分けしながら派遣する必要がある。
- ・常通委員：特別委員会の中で調査に行きたいという意見があってはじめて調査に行くのが本来である。
- ・委員長：12月定例会議において町長から議員の皆さんも調査してはという意見があったことを踏まえ、グランドデザインや観光ビジョン等と関わりが非常に強いので早急に委員派遣の考え方について共通認識を図りたい。
- ・早苗委員：唐突感が否めない。何が課題となっているので、どこに調査に行くのか特別委員会で整理し、視察先を決めるのが前提である。どのような手順で考えているのか？
- ・委員長：町もゼロベースで考える中で、課題を見つけたときには既に大体決まっているということにならないようスキー場の経営等について前もって調査する。
- ・早苗委員：町がグランドデザイン策定にあたり、どの部分を課題として調査するのか決めるのかが先である。
- ・正村委員：委員派遣の基本的な考え方を共通認識していただき、派遣先の考え方も3点示させていただいており、了承が得られればこの先に進めたい。
- ・常通委員：2月中旬に町が視察に行くので、それに合わせて議会も一緒に行きたいということで今回の提案なのか？
- ・正村委員：まずは考え方の共通認識を図り、選定の仕方も共通理解した上で進め

る。

- ・常通委員：例えば分科会として視察に行く方法もあるのではないか？
- ・正村委員：分科会との話だが、委員を分散するので基本的には同意である。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）

- ・委員長：次に「2：派遣先選定の基本的な考え方について」、意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）

- ・委員長：全体を通して意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：原案のとおり決定することに異議ないか？
- ・委員長：異議なしと認め、原案のとおり決定する。

- ・委員長：お諮りする。当日追加として「委員派遣（視察計画）案について」を調査事項に追加したい。異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：異議なしと認め、「委員派遣（視察計画）案について」を当日追加調査事項とする。資料をクラウドに保存するので、少しの間休憩とする。
- ・（暫時休憩）
- ・委員長：休憩を取り消し、委員会を再開する。

イ 委員派遣（視察計画）（案）について 当日資料2

- ・正村副委員長：資料説明（「目的」「委員派遣（視察）時期」「委員派遣（視察）候補先」「視察予定（案）」「その他」）
- ・委員長：項目ごとに質疑を行う。「1：目的」「2：委員派遣（視察）候補先」について、意見・質疑はないか？
- ・常通委員：視察先は良い。時期は新年度になってからで良く、ある程度町の動向を注視しながらの方が良い。
- ・委員長：視察先の予定もあり現在水面下で調整している日程であり、調査もこれで終わりではない。
- ・常通委員：日程は新年度でも良いのではないか？
- ・正村委員：今後のスケジュールやスキー場の視察も鑑み2月中としている。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）

- ・委員長：「3：委員派遣の基本的な考え方」は既に調査済のため、「4：委員派遣（視察）候補先」について、意見・質疑はないか？
- ・早苗委員：それぞれ何を視点として候補地を選定したのか？
- ・委員長：町からランドデザインをモンベルにお願いする中で、モンベルの施設

や自治体所有のスキー場施設を選定。

- ・早苗委員：1つの資料としてまとめていただきたい。これまでの指定管理方式が良いのか否か。何を目的として行くのかを明確にすべきでは？
- ・委員長：正副で検討する。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)

- ・委員長：次に「5：視察予定(案)」について、意見・質疑はないか？
- ・(意見・質疑なし)

- ・委員長：次に「6：その他」について意見・質疑はないか？
- ・常通委員：(4)の補正予算の影響額はどのくらいなのか？
- ・委員長：概算経費で約150万円。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)

- ・委員長：全体を通して意見・質疑はないか？
- ・早苗委員：今回の委員派遣は唐突過ぎる。事前情報は一部の議員に流れているが、近々の日程なので配慮して欲しい。
- ・委員長：参考意見とする。

- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：原案のとおり決定することに異議ないか？

- ・(異議なし)
- ・委員長：異議なしと認め、原案のとおり決定する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

- ・委員長：正副一任

(2) その他

- ・委員長：委員から「その他」でないか？
- ・(なし)
- ・委員長：議長からないか？
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	2名	議員	0名	合計	2名
令和6年1月15日		新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会 委員長 鈴木 健 充						